

## 30日 木曜

### ゼパニヤ

3:9 そのとき、わたしは諸国の民の唇を変えて清くする。彼らはみな【主】の御名を呼び求め、一つになって主に仕える。

3:10 クシュの川の向こうから、わたしに願い事をする者、わたしに散らされた者たちがわたしへの贈り物を携えて来る。

3:11 その日、あなたはわたしに背いて行ったすべての行いのことで、恥を見ることはない。そのとき、わたしがあなたのただ中から、おごり高ぶる者どもを取り除くからだ。あなたはわたしの聖なる山で、二度と高ぶることはない。

3:12 わたしはあなたのただ中に、へりくだった、貧しい民を残す。彼らは【主】の名に身を避ける。

3:13 イスラエルの残りの者は不正を行わず、偽りを言わない。その口の中に欺きの舌は見つからない。まことに彼らは草を食べて伏す。彼らを脅かす者はいない。」

3:14 娘シオンよ、喜び歌え。イスラエルよ、喜び叫べ。娘エルサレムよ、心の底から喜び躍れ。

3:15 【主】はあなたへのさばきを取り除き、あなたの敵を追い払われた。イスラエルの王、【主】は、あなたのただ中におられる。あなたはもう、わざわざを恐れることはない。

3:16 その日、エルサレムは次のように言われる。「シオンよ、恐れるな。気力を失うな。

3:17 あなたの神、【主】は、あなたのただ中であって救いの勇士だ。主はあなたのことを大いに喜び、その愛によってあなたに安らぎを与え、高らかに歌ってあなたのことを喜ばれる」と。



3:18 「例祭から離れて悲しむ者たちをわたしは集める。彼らはあなたから離れていた。そしりがシオンへの重荷であった。

3:19 見よ。わたしはそのとき、あなたを苦しめたすべての者を罰する。わたしは足を引きずる者を救い、散らされた者を集め、彼らの恥を全地で榮譽ある名に変える。

3:20 そのとき、わたしはあなたがたを連れ帰る。そのとき、わたしはあなたがたを集める。まことに、あなたがたの目の前でわたしがあなたがたを元どりにするとき、わたしは、地のあらゆる民の間であなたがたに榮譽ある名を与える。——【主】は言われる。」

14節から「イスラエルよ、喜び叫べ。」とあるように、最後はイスラエルへの祝福で終わっています。ただし、それは「あなたのうちに、へりくだった、寄るべのない民を残す。」とあるように、イスラエルが悔い改めて主に従うことが大前提となっています。

私たちは主に祝福や解決、また癒しや恵を求めますが、それらはすべて主への従順が前提でなければなりません。従わない者が、これでいいのだと勝手なままでは、この書にあるような暴虐の町が生まれてしまいます。

主のさばきについても忘れないで、そこから救われていることを感謝し、また主の懲らしめについても警戒して、そこから学んで従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

